

## 今週のお祈り

聖霊降臨後第7主日(特定10)特祷

主よ、憐れみの耳を傾けて、僕らの祈りをお聞きください。どうかその願いがかなえられるために、主の喜ばれることを願い求めさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東日本教区  
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1  
でんわ: 03-3710-6031

号外 309

発行日  
2026年  
7月12日

皆さんはおうちや園、学校で種をまいたことはありますか？ 教会でもお花クラブの方がひまわりの種をまきました。1週間くらいすると芽が出てきて、どんどん生長しています。不思議ですね、神様の愛や力を感じます ☺

今週の聖書 マタイによる福音書 13:1-9、18-23

1 その日、イエスは家を出て、湖のほとりに座っておられた。2 すると、大勢の群衆が御もとに集まって来たので、イエスは舟に乗って腰を下ろされた。群衆は皆岸辺に立っていた。3 イエスはたとえを用いて多くのことを語られた。「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。4 時いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。5 ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐに芽を出した。6 しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。7 ほかの種は茨の上に落ち、茨が伸びてそれを塞いでしまった。8 ほかの種は良い土地に落ち、実を結んで、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍になった。9 耳のある者は聞きなさい。」

18 「だから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。19 誰



## 聖書からのメッセージ

司祭 橋本克也

今週の福音書は、イエスさまの「種まく人のたとえ」です。100倍もの実をむすぶ「良い土地」とはどんな畑でしょう。きれいに整えられた畑であるよりも、さまざまな生物の命が息づいている豊かな土地でしょう。そこに必要な光、水や温度が与えられて種は育ちます。「み言葉を聞いて悟る人」とは、良いことも、悪いことも、哀しみ、喜びも、いろいろな経験と交わりの中で、神さまの息、愛に出会いながら育てられる姿です。それは、信頼する神さまへの体当たりの生き方と言えるかもしれません。受け入れられていることを信じて私たちは感謝します。

でも御国の言葉を聞いて悟らなければ、悪い者が来て、心の中に蒔かれたものを奪い取る。道端に蒔かれたものとは、こういう人である。20 石だらけの所に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて、すぐに喜んで受け入れるが、21 自分には根がないので、しばらくは続いても、御言葉のために苦難や迫害が起ると、すぐにつまずいてしまう人である。22 茨の中に蒔かれたものとは、御言葉を聞くが、世の思い煩いや富の誘惑が御言葉を塞いで実を結ばない人である。23 良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて悟る人であり、実に、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結ぶのである。」